

◎12月26日 [ 検討議題 ] について

古田 菜穂子

・ 淡路島を取り巻く環境の変化とフェアの方向性について

○「人と自然の共生」を目指したこれまで開催したフェアの理念を継承し、持続可能な社会の実現に向けた地域住民主体の「花と緑」の取組を後世に伝える。また、中でも国際的なSDGsの機運向上等を踏まえ、淡路島におけるSDGsの取組を積極的にPRする。

本格的にこの方向性に取り組んでいただけ、それが「見える化」でき、グローバルスタンダード（日本人がこれくらいで良いであろうと認識している基準ではなく）な環境への配慮含めた実質的でありモデルともなる取組みになるようであれば良いと思います。

逆に、中途半端な取組みであるならば（またはまだまだスタートアップ的な本格的かつモデルとなるような取組みでないならば）、その状態であることや、取組みの段階と目指すべき姿を明確にして、その取組みの方向性を定め、発信し、実行していくべきであると思います。そうでなければ万博を契機にグローバルに、とお考えになっている部分には対応できないと考えます。

○フェアを契機として、さらなる企業や人材の流入に繋げるため、淡路島の地域資源もPRしていく。

方針としては賛成です。ただし、地域資源のPRの仕方に工夫が必要です。ただ冊子やチラシやフライヤーをつくるだけや、広告を出すだけなどではまったく意味がありません。逆に紙媒体でのPRは2025年のグローバルスタンダードの中では、SDGsの実践から一番遠いと言われています。

○大阪・関西万博による国内外からの観光客を本県に誘客する「ブースター機能」の役割を果たしていく。

方針としては賛成ですが、「ブースター機能」という言葉が浮いている気がします。具体的に誘客とはイメージ戦略ではなく、具体的な計画によるものになります。単に「増幅機能」というイメージだけで捉えない様にしていただくのがよいと思います。

・ 開催理念と開催テーマについて

開催理念ですが、最近では、SDGsという言葉だけではなく、プラネタリー・ヘルスや、プラネタリー・バウンダリー、もしくは循環型社会の実現のために、、、などという言葉も多用されるようになってきています。その部分をもう少し考えていったほうがよいと思います。先の未来をグローバルな視点で（視点がグローバルという意味で、英語やカタカタ言葉を多用してほしいというわけではありません）、本気で適切かつわかりやすい言葉を考えて理念は作成していただくと良いと思います。

その意味で、開催テーマですが、「花とみどりがつなぐいのち・未来・島くらし」ですが、花とみどり、だけでよいのか、これからは、花とみどりを支える大地や、環境、「み

どり」の拡大解釈もできるようにするとよいと思いますので、私は、どちらかといえば、「自然と共生、いのちめぐる淡路島」の方向で、言葉をさらにブラッシュアップしていくのが良いのではと考えます。

### ・ 展示・ 行催事計画の基本的な考え方について

○ 淡路島の一番の魅力である花と緑を一番の PR ポイントとして捉え、フェア期間中、来島すればいつでも花とみどりが楽しめる環境を構築する

ここにある、花と緑（ときに「みどり」）の対象が、大地や、棚田など里山的な緑なども含んでいるならばよいと思います。

○ 自生種を活かした庭づくり等、花とみどりと共生する暮らしのあり方を提案していく。加えて、花とみどりを育て発展させてきた人々の歴史も伝える。

○ SDGs に資する展示・ 行催事を企画・ 立案・ 実施する検討過程で地域住民の協力を積極的に得る。中でも、地域の若者のアイデアを積極的に取り入れ、次代の魅力ある淡路島を担う人材を育てていく。

○ 竹チップ等によるバイオマス燃料の活用等自然への負荷を軽減する取組を広めていく。

○ 島内に点在する地域資源を繋ぎ合わせるとともに磨き上げ、フェア開催後も持続可能な観光資源として仕立て上げる。

これらの考え方は良いと思います、簡単にできることではないので、ぜひ適切な人々としっかりつながって、実行できるシステムをつくりあげていってください（コンサルの方々やイベントが片手間にできることはありません）。

### ・ 広報計画の基本的な考え方について

基本的に、事務局や主催者が一方的に発信するだけでは、結果のでるコミュニケーションとしての広報・ PR にはなりません。世界への発信も同様です。広報活動を行う、とありますがその部分をさらに具体化する必要があります。

### ・ 協賛・ 収益の基本的な考え方について

考え方についての現時点では異論はありませんが、クラウドファンディングは、慎重に行うべきだと思います。「ストーリー性のある事業をピックアップして」、とありますが、だれがそれを選ぶのが、その選定基準は、誰が決めるのか、その後の金銭的、返礼的事務はどこが担うのかなど、課題は多いかと思います。

本日は（もともと決まっていた兵庫県庁での会議日程と重なっているため）参加できず、大変申し訳ありません。よろしくお願いいたします。